

(コーディネーター)

それでは、事業番号 9 番、地域サービス事業について、作業に入りたいと思います。事業シートに基づきまして、内容を簡単に説明をお願いしたいと思います。それでは、よろしく申し上げます。

(説明者)

事務事業は地域サービス事業で、市民課業務サービスコーナー管理規則に基づき、昭和 61 年度から、順次、直営で実施している事業です。目的は、市民の身近な地域での戸籍関係、住民票の写しや印鑑登録証明書等の交付を可能にし、市民の利便性の向上を図ることです。対象は、地域住民及び市民の方です。

事業内容につきましては、市民が市役所や津田・香里ヶ丘・北部支所まで出向くことなく、身近で住民票の写しや印鑑登録証明書などの交付、戸籍関係証明書等の交付が受けられるとともに、母子健康手帳や健康手帳の交付、戸籍の届出書、パスポート申請書や広報ひらかた等の広報冊子を備えた市役所のインフォメーションの役割を担うサービスコーナーとして、図書館を併設した蹉跎生涯学習市民センター、牧野生涯学習市民センター、菅原生涯学習市民センターの 3 施設の 1 階に設置しております。開所日・時間につきましては、市民課同様の取り扱いで、平日、午前 9 時から午後 5 時半、休所日は土・日・祝日・年末年始となっております。勤務体制は、再任用職員、任期付短時間勤務職員等による週 4 日勤務で複数配置を行い、3 人の交替制勤務となっております。

事業の必要性では、地域住民・市民の利便性の向上のため必要と考えております。

コスト面では、平成 21 年度決算で、総事業費 3,609 万 4,000 円で、内訳は、人件費が 3,533 万 9,000 円、直接経費が 75 万 5,000 円です。ちなみに、正職員において、1 人当たりの平均標準単価が、20 年度では 353 万円と 2,871 万 3,000 円を足した合計額 3,224 万 3,000 円を人数で割ると、358 万 3,000 円になり、21 年度で同じように算出しますと、365 万 1,000 円と増加しており、人件費の占める割合が高くなってきてます。財源内訳は、受益者負担として、証明発行手数料収入については 20 年度が 1,553 万円、21 年度が 1,473 万 6,000 円と約 80 万円が減少し、一般財源の補てんが、20 年度が 1,992 万 9,000 円、21 年度が 2,135 万 8,000 円で、142 万 9,000 円が増加しております。21 年度の事業費の主な内訳は、シート記載のとおり、通信運搬費・機器使用料に 50 万円、印刷製本費に 11 万 9,000 円、修繕料に 13 万 6,000 円となっております。

証明発行枚数は、20 年度で、3 コーナー合計で、48,455 枚、21 年度で 45,919 枚と、約 2,500 枚減少しており、市民課全体の取扱交付率は 12%と、横ばいとなっております。単位当たりコストは、証明書発行枚数 1 枚につき、20 年度で 732 円、21 年度で 786 円と約 50 円高くなっております。

成果目標は、費用対効果を考慮しながら、市民サービスの向上を目指します。

自己評価としては、各センターコーナーでの戸籍住民票関係等証明書発行枚数が年

5. 23%減少している現状を踏まえ、平日は市役所・各支所・自動交付機(市内 8 か所設置)が起動し、時間外及び休日対応ができる地域サービスセンターは開所時間が長く、交付枚数も多く、市民の利便性に寄与しておりますが、その他のサービスコーナーは開所時間が短く、交付枚数も少ないため、最小の経費で最大の効果を発揮できるような仕組みを考えていかなければならないと思っております。

今後の事業の方向性としては、各センターコーナーは、生涯学習市民センターと図書館に併設しているメリットを活かし、三者一体となった開所時間の延長と土曜・日曜・祝日の取り扱いを含め、自動交付機の設置についての調査研究を行い、より効果的に、さらに市民サービスの向上が図られるよう、庁内の関係部署間で検討を進めてまいりたいと考えております。

比較参考値としましては、ベースといたしまして、北河内各市の休日、平日の証明発行サービスの実施状況といたしておりますが、平日のみは本市と寝屋川市 2 か所、交野市 1 か所となっております。下段に、枚方市の各センター、支所の位置図を記載し、次のページに市駅サービスセンターを含めた 19 年度から 21 年度の具体的な数値を掲載しております。

特記事項といたしましては、現在総務省が進めております住民基本台帳カードによるコンビニ交付が、平成 22 年 2 月 2 日から先行 3 市区で実証実験されており、本市としてもコンビニ交付の可能性について、注意深く見守っていく必要があるものと考えます。以上です。

(コーディネーター)

ありがとうございました。

少し、私の方から確認させていただきますけども、枚方市の中で、このようなサービスを受けようとする、ここに上げられたサービスコーナーが 3 つ、枚方市駅のサービスセンターと、各支所が 3 つ、それと、本庁、市役所の 8 つですね。そこで受け取ることができますよという仕組みでよろしいですね。で、自動交付機って、どこにあるんですか。

(説明者)

8 か所ありまして、市役所の本館に 2 台、市役所別館に 1 台、それから各支所、香里ヶ丘支所、津田支所、北部支所に各 1 台、教育のきららのところに 1 台設けております。それから市駅サービスセンターに 1 台置いております。

(コーディネーター)

教育のきららっていうのは、先程の 8 か所には入っていないところですか。

そうすると、自動交付機まで含めば 9 か所ですってことになりますね。今後の方向性に

ついて確認するんですが、センターコーナーの費用対効果を考えてというお話で色々出ていたんですが、土・日・祝日の取り扱いとか自動交付機の設置という調査研究を行っているところなんですけど、実際土・日・祝日や時間外に住民票がどうしても要るとかいうニーズって、どのくらいあると把握してますか。

そういう調査を行って数字を持っていますか。

(説明者)

自動交付機の方は出てないんですけど、地域の方の時間外の方ですが、休日では、19年度で16,548通、20年度で16,219通、21年度は15,573通です。

(コーディネーター)

それは発行数ですよ。どのくらいのニーズがあると見込んでいるんですか。それではまかない切れてない、だから、増やすんだということですね。

(説明者)

枚方市の場合、時間外で出しているのが市駅だけなんです。

(コーディネーター)

他の手法では受け取る方法がないということでもいいですか。例えば郵便で請求して。

(説明者)

郵便もいけます。それと、自動交付機の方は、9時から晩21時まで、2か所動いております。

(コーディネーター)

例えば、市がやってない時間に住民票が欲しいというニーズが、市民からどのくらいあるかというのを把握してますか。今の体制じゃ足りなくて、もっと欲しいんだというニーズがあるんだと。

(説明者)

それは申し訳ないですが把握していません。確かに電話の問い合わせ等で、平日どうしても行けないから休日どこか開いているかという、市民からの問い合わせにつきましては、市駅サービスセンターの方で対処しているようなことも説明させてもらってますけど、それが枚方市民の方でどれだけの要望があるかというのは、誠に申し訳ないですけども。

(コーディネーター)

ということで、いいですね。そうすると、今後それも含めて調査研究ということだということですね。

(説明者)

はい。

(コーディネーター)

それでは質問のある方、お願いしたいと思います。

(仕分け人)

証明書発行枚数1枚当たりの単位コストがこちらに出ておるんですが、市役所本体や支所で発行した場合は、いくらぐらいなのでしょう。

(説明者)

先ほど言いました3コーナー以外で、市駅サービスセンターでいきますと、21年度で1枚574円、それから、市役所の本館の証明発行コーナーで227円、誠に申し訳ないですが、3支所の関係は今データを集めておりません。

(仕分け人)

自動交付機の場合は、いくらぐらいになるのでしょうか。自動交付機も合わせて227円なのでしょう。

(説明者)

これは自動交付機は入っておりません。

(仕分け人)

交付機の場合、単体ですとコストはいくらになるのでしょうか。

(説明者)

申し訳ないですけど、ちょっと今分かりません。

(仕分け人)

そうすると、他方で、証明書発行手数料なんですが、市役所に来た場合と、これらサービスコーナーに来た場合とで、発行手数料は同じでしょうか、異なるのでしょうか。

(説明者)

発行手数料は全く一緒です。3支所も、それから市駅サービスセンターもうちの証明サービスコーナーも一緒です。ただ、自動交付機の住基カードをお持ちになって使われる方は、住民票 300 円なんですけど 100 円引いて 200 円で取れるという、住基カードを持たれるとそういう特典があるというか、そういうサービスもさせてもらってます。

(仕分け人)

例えば、枚方市駅サービスセンターというのは、市役所と極めて近接しているわけですが、大変たくさんのご活用はあります。市役所にわざわざ来ませんよね、料金が同じなら。そういうところに行政コストはまた別途たくさんかかると、そうすると、受益者負担という点でいえば、ここまで歩いてくる分を、ある程度じゃあ、向こうの発行手数料を少し上乗せしますよという、そういうような発想というのは、あり得ないんでしょうか。ちょうど交付機が 100 円割引になっているように、市役所に来れば 300 円だけどサービスセンターだと 400 円とか、もっと遠隔地で行政効率が悪いところがあると、もうちょっと上がってしまうとか、そうすれば少し歩こうかという人も出てくるかなって思ったんですけどどうでしょうか。

(説明者)

手数料の関係等を見て、やっぱり住基カードをお持ちになっている方については、特典という形で、300 円を 200 円にしておりますけども、それぞれ市役所、あるいは 3 支所、それから市駅サービスセンターのところで手数料については、行政で決まっております。それを下げるということはバランス、公平性に欠けると思いますので、ちょっとそれは考えていません。

(仕分け人)

関連なんですけれども、三鷹市とか千葉の市川市でも同じようにやっているようですが、他の自治体の単価は 1 枚いくらくらいなんですか。

(説明者)

申し訳ないですけど、ちょっとその辺は、うちの方に手元に資料がないんですが。今言われました内容については、コンビニ交付の関係のお話ですかね。まだ、私ども、コンビニ交付の関係は始めてないんですよ。

(仕分け人)

枚方サービスセンターでは似たようなの、色んな自治体であると思うんですけど、比較的この 732 円という、800 円ぐらいの価格が、他の自治体と比較して高いのか低いのか

かを知りたいんですけど。

(説明者)

それは申し訳ないんですが、今資料として手元にないです。

(仕分け人)

じゃあ、コンビニとか郵便局で交付するといくらくらいになりそうなんですか。仮にやった場合は。

(説明者)

1枚いくらになるということですかね。

仮に、枚方市民の方が、枚方市の場合で住基カードを持っていなくて、枚方市の場合コンビニ交付を行った場合、今でいきますと住基カードを持っておられる方で200円になりまして、コンビニで交付した場合、コンビニの方に支払う手数料が120円取られます。実際枚方市に、もし仮に入ってくる金額は1枚につき80円という形になると思います。コストについてはちょっと調べております、今。

すいません、先行で実証実験なさっておられます市川市の方で、当初、年間の経費について調査してみました。市川市で、今導入経費としまして約3,200万円、それと運用経費とシステムの利用負担金、機器の補修を合わせまして年間800万円の経費がかかっているというふうに承っております。

(仕分け人)

ちょっとコンビニの話に引っかけからずには得ない問題だとは思うんですけども、その話になると、また住基カードの話になってしまうので、ちょっと話が方向をそれちゃいけないと思うんですけども、自動交付機の稼働率はどれくらいですか。例えば、1年のうち、自動交付機が1日に発行する証明書の枚数だとか、例えば、市役所の本館にもありますよね、窓口と自動交付機の実行の、100円安いにもかかわらず、そっちへ行かずに、窓口へ行く人の割合というのはどのくらいなんですか。

(説明者)

全体でいきますと、20年度は自動交付機の交付率が1.68%、21年度で2.17%です。

(仕分け人)

少し伸びてるんですね。

(説明者)

そうですね、住基カードが増えているということもありますので。

(仕分け人)

これは推奨していく、さっき、これの対策の中に、自動交付機の設置っていうのもありましたよね。ということは、こういう制度、自動交付機そのものも増やしていこうと思われるんですか。

(説明者)

はい。やはり住基カードを持っていただくということは、今も言いましたように、自動交付機が使えるということもありますし、メリットとしましても、通常300円のところが200円になるということもありますし、今写真付きの住基カードを持っていただきましたら、仮に身分証明の、例えば、免許証の代わりとして住基カードを。

(仕分け人)

それはわかるんですけど、そういう問題じゃなくて、聞いていいのかわからんですけど、住基カードを周知徹底、例えば、保有率を上げるような対応とかされているんですよね、当然これに伴って。

(説明者)

はい。確定申告の時期に、e-taxのことも含めまして、土曜とかそういうところに、私ども職員が出まして、住基カードを普及するような形で、取り扱いはさせてもらってますけど、なかなかまあ、2度来ていただくようなことになりますので、暗証番号みたいなこともありますし、ちょっと、やはり手間がかかるということで、なかなか普及率は高まっていないのが事実です。

(仕分け人)

現在どれくらいですか、住基カードを持っている人の割合というのは。枚方市の場合。

(説明者)

7月末現在で、対住基人口比で3.77%です。

(仕分け人)

昨日たまたま情報を取ってまして、インターネットから、神奈川県座間市のタウンニュースで、この3月、地方自治情報センターというところが、コンビニ交付の参加自治体を公募されてたということなんですが、いずれおそらく、コンビニで交付というのは、おそらく避けて通れない道だと思うんですが、この公募には応募されましたか。

(説明者)

今回は応募しておりません。理由としまして二つあります。1点ですね、平成21年7月15日に改正法の公布をなされました住民基本台帳法の改正の問題でございます。これは21年7月15日から3年を越えない範囲で施行に切り替えるんですけども、別によって制限まで出ておりません。ですので、カードの仕様の変更等の詳細も出ておりません。といった状況の中で、24年を含めて住民基本台帳に載るというタイミング、もしくは、そこからさらに1年経ちましたら外国人の方が住基ネットに載るとあります。このタイミングを図るということで。

(仕分け人)

その条件というのは他市でも同じですね。他市は40自治体が参加応募して、そして36自治体が採用されているという状況なんですけど、かなりそこで補助金がいただけるということなんですけど、そこで積極的にされなかったのかなと思うんですが。

(説明者)

もう1点の問題としましては、カードメディアがあつて、1枚当たり1,506円で住基カードの調達を行っております。これを仮に、41万人の市民の皆様全員とは申しませんが、仮に1世帯に1枚という形で使用されるといたしましたら、ただ今世帯数が16万8,000世帯ございますので、交付済みの約1万5,000世帯差し引きましても、約2億3,000万円強発生しますので、それだけの予算が調達できないとの判断で、地方自治情報センターに応募してません。

(仕分け人)

事業の必要性で、市民の利便性の向上のためというようなことが書かれているんですけど、例えば、駅前のこちらの方のサービスコーナーで対象にされているのは、市民課の証明業務だけだというふうに書いてあるんですけど、例えば、これに税務の関係の証明とかそういった市民の方がより必要とされているような証明、そういったものの発行というのは考えてらっしゃいませんか。

(説明者)

今現在は、言われましたようにそういう形にさせてもらっておりますけども、今後の課題といたしましては、税証明とかそういったものを含めて熟慮する必要があると考えております。

(仕分け人)

税証明、所得証明とか納税証明というのは、皆さん色々使われることも多いと思いますので、そうすればそれだけ、特に市駅のセンターで時間外、休日もやっていることであれば、利用者も増えたりすると思いますし、センターの方でも利用者が増えるのではないかと思うので、1人単位当たりのコストも多少下がるのではないかなというふうに思います。それと、せっかくですので、コストの件についてお尋ねしたいんですが、正職員の0.3人というのは、本庁か何かの方で管理をされてる方というふうに思っよるしいんでしょうか。

(説明者)

はい、そうです。

(仕分け人)

その後なんですけど、特記事項のところにも書いてあるんですが、任期付短時間勤務職員って書いてあるんですが、この方たちというのは、非常勤職員の方でよろしいですか。

(説明者)

はい、そうです。

(仕分け人)

再任用の方よりも非常勤職員の方が単価が安いんですか。お1人当たりの単価でいうとちょっと微妙かなと思ひながら、非常勤職員の方が安いんですね。何故か単価の安い方の方がどんどん減っていつて、再任用の方が増えていつてるといふようなところの理由といふのは、どういふところでしょうか。

(説明者)

枚方市の自主政策といひますか、今言われましたように任期付の方が60歳になられると、定年といふ形でやめていただくことになつてまして、その後の任期付の方に替わるといふようなことで、正職員の方が60歳定年で抜けられた後に、再任用のテストを受けられて、サービスコーナーの方に配属をされていふに、随時、任期付の方から、正職を退職された再任用の方が、そこに配属されていくといふことになつております。

(仕分け人)

例えは、市内でもいらつしやると思ひなんですけど、若い方で働きたいとか短時間だつたら働くことができるとか、いふいふうな方たちを活用して、いふいふ方たちにもハ

ッピーだし、人件費も押さえられて市もハッピー、そういうような考え方というのはありませんか。

(説明者)

今の考えについては、私ども市民課だけでは判断しかねますので、ある意味、さっき言いました人事サイドの考えと思われまますので、そういった雇用関係等については、将来的にそういう話が出たら、また、あれですけど、今現在については、今の制度で任用しておくということになっておりますのでご理解いただきたいと思ひます。

(仕分け人)

特に2点ほど、先ほど、住基カードのお話が出ましたけど、4、5年前にこの住基カード制というのが出てきて、そのときは無料で取れたと思ひますが、今はお金が要りますね。そうすると、やっぱり増えてこないんちゃうかな、その辺もあると思ひます。それともう1点、印鑑証明、戸籍証明は分かりますが、その他の証明というのは、どういふ証明なんでしょうか。

(説明者)

その他の証明というのは、外国人登録の方の記載事項証明とか受理証明とか、そういった別の形で、その他の中に入れさせてもらっています。

(仕分け人)

それともう1点、正職員の場合は行政改革で人件費の削減はしていると聞いていますが、非常勤職員の人件費が昨年よりちょっと上がっているというのは、どういうことでしょうか。

(説明者)

再任用の方の分ですが、遠いところから来られた方とか、そういったときの交通費とか、年間によって時間外のバラツキ等もありますので、若干、昨年から今年にということと比べてますと、そういう時間外勤務の手当、あるいは勤務地から家までの交通費とか、そういったことも入れようによって、金額が上がったりするようなこともありますので、ご理解願ひたい。

(仕分け人)

もう1点、コンビニでの証明書はまだできていない。もう始まっている。

(説明者)

コンビニでの証明書の発行ですか。今後検討を加えて、まず、たくさん住基カードを作っていただいて、で、それからコンビニ交付でも使えるような形にしていかないと。まだまだ、そこまでいけていないという状況なんです。

(仕分け人)

ほな、まだコンビニではやってない。

(説明者)

はい、全国的にもまだ3市しかされていなくて、先程も言われましたように、各自治体でコンビニ交付についてやりたいというところもありますけど、枚方市の場合は平成24年7月に法改正等もありますので、そういうのを目指しながら、一定、市民の利便性も含めて、住基カードの交付率を高めて、自動交付機の設置も考えなければならないと思いますけども、それと併せて、コンビニ交付も、それぞれ検討を加えながら、手近なところに住民票なり、印鑑証明書の発行ができるような場を考えていきたいと思っております。

(仕分け人)

住基カードね、これは一時かなりお話に出たわけですが、これのメリットというのは、住民票とか取るときしか使えないんですか。他に何か住基カードを取ればもっと何かメリットがあるとか、例えば旅行に行つて怪我をした場合に、この住基カードを保険代わりにするとか、そういうことがあれば、もっと消費者が多いと思いますけど。その辺を今後どうですかね、ちょっとお聞きしたいと思います。

(説明者)

多目的利用という形で、市町村ごとに条例を定めまして、保険証としての利用とか、印鑑登録書としての利用とか、各々の自治体によって、救急カードとして扱っている自治体もあります。一方ですね、国の方では、社会保障カード、もしくは納税者の番号と、その番号を例えば、住基コードの11桁を使用するか、もしくは年金番号として使用するか、新たにこれは、といったことも並行して活用状況を検討しております。保険につきましても、色んな、国民健康保険を初め、さまざまな保険者がいますので、少々ハードルが高いかなと思います。

(仕分け人)

先程、公平化の観点から発行手数料を一律にしたいというお話だったんですが、枚方市駅のサービスコーナーだと発行コストが700円から800円高い。でも300円で発行してもらっています。駅からわざわざ市役所まで歩いて来てくださった方は、同じ300円

払って、実は発行コストは227円で、市の儲けになっている。これは公平なんですか。

(説明者)

1人の人件費を含めて数でしますよね。だけどやっぱり条例で300円と手数料が決まっているので、それを逆に1人単価によって下げたりということはできません。

(仕分け人)

今の意見に関してはちょっと異論があって、要は1枚当たりのコストなので、駅のやつは、枚数が増えれば1枚当たり下がるでしょ。だから、そっちの努力をするか、コストダウンの努力をすべきであって、値段の差別化はちょっと民間企業的にはない発想じゃないかと思って、むしろユニットコストを下げる努力をすべきかなという気がしますけど。

(仕分け人)

どういうふうに人の流れを誘導するかということに尽きると思うんですね。だから、自動交付機の方に誘導して行って、200円に下げるという性格的な配慮があるわけですから。戦略として、むしろ駅にサービスコーナーを作って、そこに集約していくのであれば、もう市役所でやらなくていいとするのか、トータルでのコスト、その差別化をするというのは人の流れをそっちに誘導していくっていう趣旨で私は申し上げているんです。だからこそ、自動交付機のコストを落とすしちやえばいいとなるわけですね。需要があるからあとは動かさないということではなくて、その辺はもうコストカットのために市民の皆さんがちょっとだけこう動いていただいたら、トータルの税金がこんなに圧縮できるんですよというような戦略ができないかなということで申し上げているんです。その意味では、非常にあの、もう少し田舎の方でサービスコーナー、効率が悪いようなところはもし将来的に廃止しなきゃいけないような、効率がどんどんどんどん悪くなるようであればですね、そこはむしろ発行手数料を引き上げて、皆さんが動いて行っていただくように仕向けるとか。そういう趣旨を申し上げてますんで、そのところは誤解しないでほしいと思います。

(コーディネーター)

それでは、評価シートの方をお願いします。

今の議論の中で、少しまだ鮮明になってないと思っているのがありまして、申し上げたいんですが。実は、枚方市さんとして、地域サービス事業を含めて、住民票等の証明書の発行事業をどうやっていきたいのかというのが、ちょっと私には見えてこなかったですね。で、それは何故かというのは、フェイス・トゥー・フェイスで職員が必ず対応

していきたいと考えてるのか、そうでなくて、例えば住基カードを普及させてすべて自動交付機にして効率化して職員を減らすんだと考えてるのか、その辺の考えがちょっとここで今見えてないもんですから、私も判断迷ってたんですけど、その辺の考えというのはありますか。

(説明者)

今のところでは、フェイス・トゥー・フェイスで、やはり、対市民との職員である、今あのサービスコーナーとかおりませんけども、やはり人と人とのつながりというのを求めています。今後もそういうことについては、引き続き枚方市の情報を伝えるということを含めたり、また、今現在サービスコーナーを地域のところに比較的、こういう言い方はあれですけども高齢者の方もおられて、結構うちの職員さんとのコミュニケーションと、枚方市の情報をやはり伝えるということも、まあ本来の仕事ではないんですけど。

(コーディネーター)

はい、結構です。

で、例えばそうしたときに、市の本館で発行するのは227円、例えばこのサービスセンターで発行するのはたぶんそれより高いですね。そしたらそのコストを落とすためにはどうすればいいかと考えていくわけですし、枚方市さんの中で書いてあったのが、センターコーナーは、生涯学習市民センターや図書館に併設していると書いてあるじゃないですか。そしたらそういうものをどうやって活用して、少しでも、例えば人件費かコストを減らすとか、そういう方策はないのかとか、そういうことを考えていくのが本来市がやるべき仕事だと私は思うんです。その辺も本当に議論すべきかと思ったんですけど、少し違う論点での議論となりましたけども、とりあえず当面、仕分け人さんからそういう意見があったかと思しますので、その辺を採決したいと思います。

(説明者)

実は私どもの方、説明させてもらいましたようにね、今現在それぞれの生涯学習市民センター、図書館併設の中で、我々のサービスコーナーがあるという中で、それぞれの休日とか休みがバラバラなんですね。できたらやはりそういうことも含めて、一つの課の中で休日は一つにしてもらう中で、より効果的に、例えば今、平日の時間しか職員が待機しておりませんけども、それを生涯学習市民センターの職員がやるのか、図書館の職員がやるのかということも含めて、今まででしたら教育委員会とか部局が違うからということでの取り扱いでしたけど。これからやはり横断的に、誰かがやはり対面する中での、今まででしたら土日休みだったところを土日も開けることによって、より市民サービスに貢献できるやないかというようなことも含めて、今後考えていきたいとい

うふうに思っております

(コーディネーター)

ありがとうございます。

それでは、事業番号9番、地域サービス事業について、採決をいたします。この事業について、1番不要(0人)。2番①民間(0人)。2番②国・府・広域(0人)。3番枚方市・要改善(5人)。4番枚方市・現行通(1人)。

それでは、班の結論としては、枚方市の要改善ということになります。

では、ご意見伺いますので。

(仕分け人)

要改善というのはどの部門でもあると思うんですけども、市民サービスというのは、やはり先ほど言われた公平というのが非常に難しい問題なんですけども、基本であるべきだと私も思います。どこに住んでおられる市民の方も同じような時間負担だとか、同じような料金でしていただくための努力をしていただいているんですけど。その中で、やはり市民課が使われる市民の情報やデータというものの管理という問題が、今まで一番のネックになっていたと思うんです。それが色んなセキュリティとか色んなものが今進んできてますので、それをうまく利用して利用者全体で皆のサービス、効率化をしていただきたいなと思います。さっき意見で言わなかったんですけど、この非常勤の方と再任用の方の賃金を見てみたんですけど、3人の方で2人勤務で週4日勤務をされてるんですね。3人の日もあったりするんでしょうね。私も昔人事をやっていたんで、私がこういう営業所をもし作ったとしたら、もう少し人件費は安いです。業務内容からいってですね。

以上です。

(仕分け人)

現状というか、私の考え方としましては、税金を納めているんだから、行政はサービスを徹底しろというのが根本にありまして、是非ともサービスは拡充していただきたい。少ない予算で拡充する、そういう努力を怠らないでいただきたいということが一つございます。それから、やはり時代の流れとして、自動交付はおそらく避けられないだろうと思うんですが、その前には、住基カードの普及とセットになった取り組みということですので、これは市民課だけではなくて、やはり横断的な協力体制というものを強化していただきたいということで、拡充ということをお願いいたします。

(コーディネーター)

ありがとうございます。

それでは、この地域サービス事業については、班の結論としましては枚方市・要改善ということでもあります。今の議論にありましたように、地域サービスの拡充というのは当然市が行っていくべきでありまして、それを限られた人材だとかコストの中で、どうやって工夫していくかというのが市の職員の考えているところでもあります。私たちから、もっと人が減るよというのは、おそらくデータに基づいた分析を行ったりできないんですね。私が最初に伺ったのは、そういうデータを取っていますかということだったんです。例えばこの地域だったらこういうサービス、例えば中心部だったら情報提供だけでいくとか、そういう仕分けも絶対必要なわけですし、必ずベースベースに話ばかりではないと思います。地域のニーズやそれぞれの地域性に応じた、やっぱり対応というのを考えるべきということであった議論じゃないかなと思っております。

では、事業番号9番、地域サービス事業については、これまでの議論を含めた中でまた見直しを図られることと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

これをもって終了します。ありがとうございました。

(事務局)

皆さんお疲れさまでした。これをもちまして、本日の仕分け会議を終了させていただきます。

終了に当たりまして、本日の仕分け結果について事務局からご報告させていただきます。

第1会場では、9事業の仕分けを行っていただきました。結果につきまして、判定区分ごとにまとめますと、廃止が2事業、民間等が実施がゼロ、市が実施（要改善）が6事業、そして、市が実施（現行通）が1事業となっております。

なお、明日につきましても、本日と同じ会場で9時30分から9事業の仕分けを行う予定をしておりますので、お時間の許される方はどうぞお越しをいただければと存じます。

以上をもちまして、本日の仕分けを終了いたします。ありがとうございました。